

おしえて!

オリンピック★パラリンピック

21

今回は、パラリンピックの
パワーリフティングを紹介します。

パワーリフティングは、下肢障害者対象の種目で、障害の種類や程度によるクラス分けはなく、男女の体重別で試合を行います。

選手はベンチ上であおむけになり、上半身の力でバーベルを持ち上げる「ベンチプレス」を行います。ラックから外したバーベルを静止させ、審判の合図で胸まで下ろし、胸上で静止させ、再び押し挙げることで1回の試技となり、3回の試技のうち成功した最高重量で勝敗を競います。1964年の東京大会から正式競技となっています。

2020年東京大会は頂点を目指します

今年のリオデジャネイロ大会候補の三浦浩選手は、「自分に立ち向かう心と諦めない気持ちが大事。いい時もあれば悪い時もある。それでもバーベルを挙げ続ければ記録は伸びる。パワーリフティング競技は年齢も男女も関係ない。2020年は頂点を目指します」と語っています。

2020年東京大会を目指す日本選手の活躍に、皆さんぜひ注目して下さい。



写真提供 (株)つなひろワールド

お問い合わせ

オリンピック・パラリンピック準備局大会準備部
☎03-5320-7480

子供



- ① コイン形リフト
- ③ ボタン形電

を使用しなければ開けられない構造になっているか、衝撃に強いかなどについて確認し、安全な商品を選択する。

誤飲または誤消費生

2月7日は
重なる対話

北方四島(歯舞群島・色丹島)

はままいぐんとうしおたんとう

1,855(安政元)年の2月、ロシアとの間に日露通好条約が締結され、北方四島が日本の領土であることが確認されました。1981(昭和56)年のこの日を「北方領土の日」と定め、東京都では、1983(昭和58)年に北方領土の返還実現を目的とした「都民大会の開催や写真パレードを通じ、皆さんに北方領土問題の正しい理解を呼びかけ、さまざまに取り組んでいます。」

この機会に、北方領土問題についてみませんか。